

<ニュースリリース>

報道関係者各位

2022年3月15日

一般社団法人全国トマト工業会

トマト加工品（トマトペーストなど）の2022年の展望について

表題の件、トマトケチャップやトマトジュースの原料となるトマトペースト等のトマト加工品の価格が21年から急激に上昇しています。

この件につきまして、世界のトマト加工品業界をとりまく環境変化を分析し、2022年の展望をとりまとめました。

以下にて報告致します。

■21年産トマト加工品の状況

2021年北半球のトマト加工品は主要国である米国の減産、20年より続く在庫不足の影響で世界在庫は、20年にも増して低水準が継続しています。その結果、ペースト相場価格は急激に上昇しています。

また、世界的な物流混乱（コンテナ不足・船舶不足）により、海上運賃も上昇しています。その結果、日本に輸入されるトマト加工品の価格が上昇しています。

■2022年産トマト加工品の展望

2022年は、ペースト相場上昇に加え、原油価格、鉄鋼価格、農薬・肥料価格の世界的な上昇が継続すると見込まれ、各国農家の加工用生トマトの単価上昇圧力が強まっている状況です。

主要生産国の22年初旬の状況

- ・米国 : 22年加工用トマト価格前年比+24.3%上昇。※1)
- ・スペイン : 水不足による大幅減産。生トマト価格前年比30%上昇。※2)
- ・ポルトガル : 生トマト価格前年比+20~24%上昇見込み。
- ・北イタリア : 競合作物の台頭により、農家は生トマト価格前年比+15%以上を要求
- ・南イタリア : 北イタリアと同様、農家は生トマト価格の値上げを求めている。
また、燃料費・容器包材コストの上昇により、最終製品は大幅な値上げを予測している。
- ・トルコ : インフレ率上昇によるコスト上昇。生トマト価格は、昨年比2倍以上。競合作物の相场上昇もあり、栽培面積は、昨年比10~15%減少する見込み。

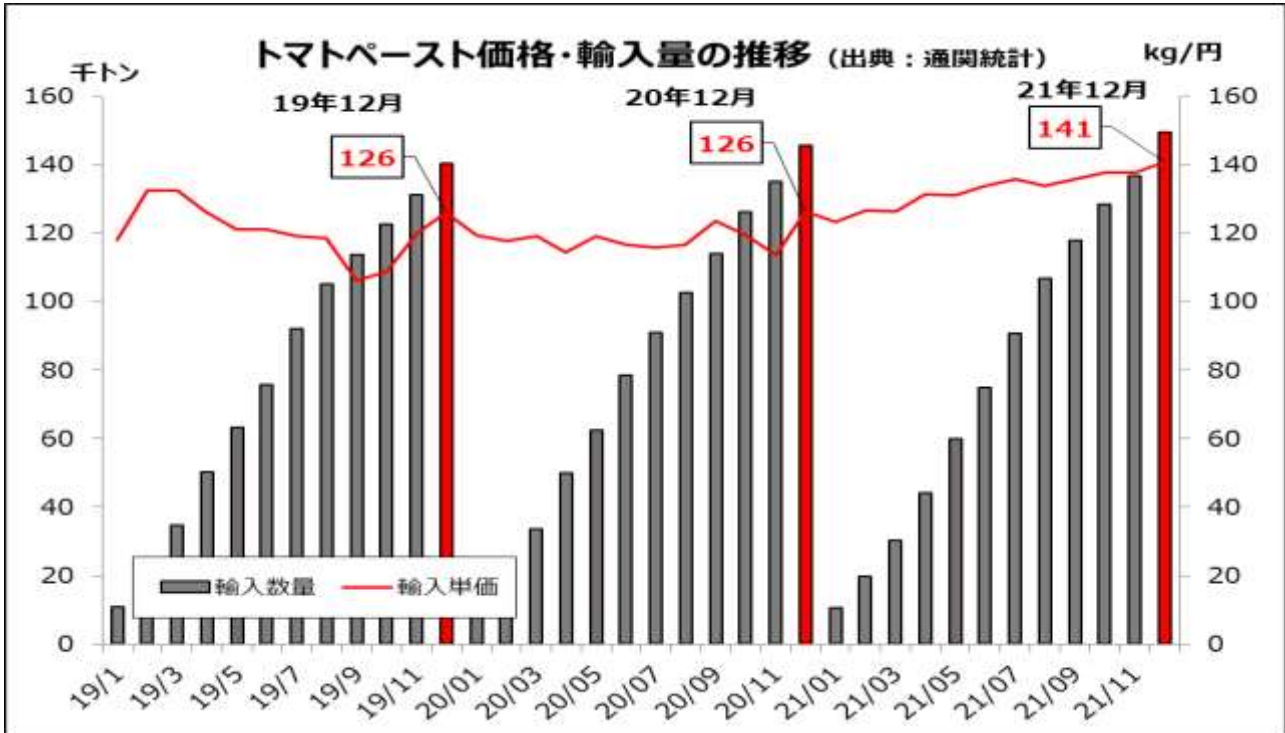
上記、各国状況に加え、ロシア・ウクライナ危機の進捗により、天然ガス・石油等の予測できない高騰、トマトの競合作物である綿花、コーン相場の更なる上昇による農家のトマト栽培からの離脱が考えられ、トマト加工品の価格は21年産よりこれまでにない大幅な上昇が見込まれます。

<参考>

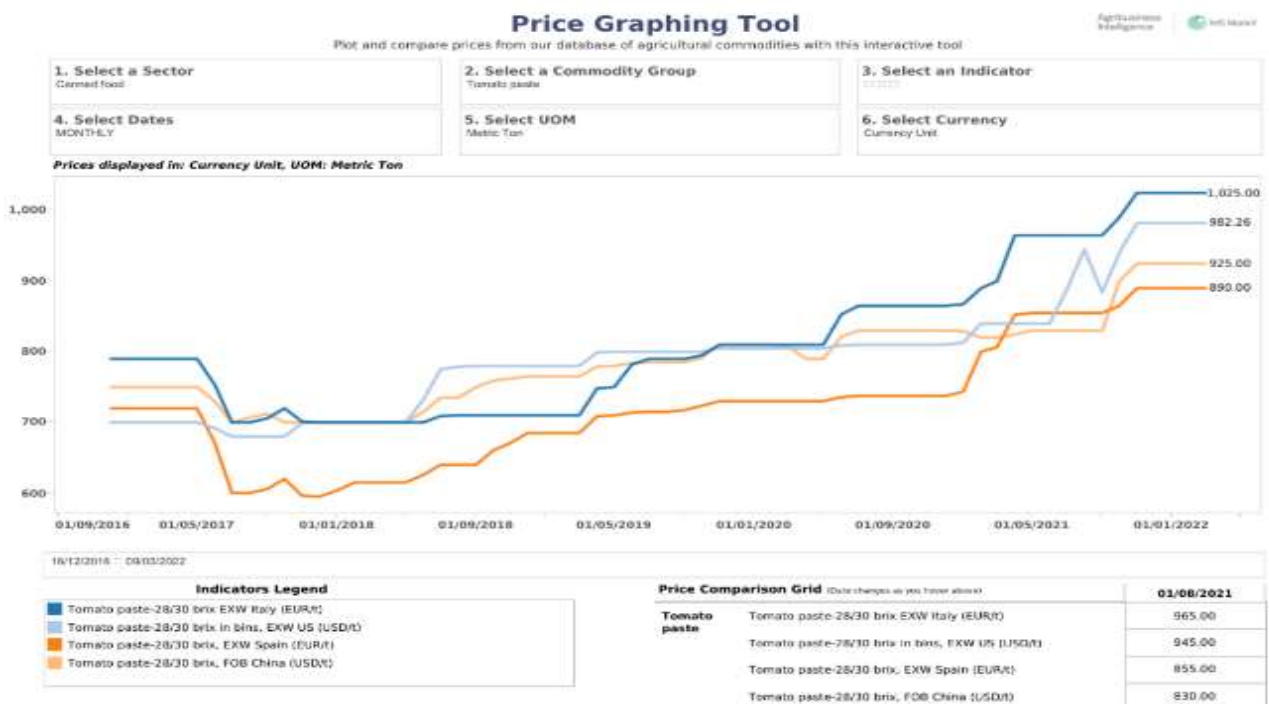
※1) https://www.tomatonews.com/en/california-2022-price-agreement-reached-with-all-processors_2_1536.html

※2) https://www.tomatonews.com/en/a-smaller-2022-crop-expected-by-amitom-_2_1591.html

■通関統計より ペースト輸入単価推移

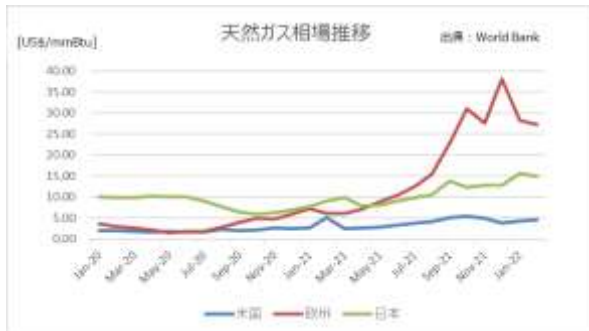


■Foodnews 相場情報



■資源相場

①天然ガス



②原油



③コーン



④綿花



一般社団法人全国トマト工業会について

全国のトマト加工品メーカーの業界団体。2022年3月現在、会員社は34社。1963年、トマト加工品及びにんじん飲料等の開発及び品質の向上、並びに加工用トマト及び加工用にんじん等の生産及び出荷の合理化を図り、国民の食生活の改善に資することを目的として設立。

所在地：東京都中央区日本橋小伝馬町 15-18 3階（電話 03-3639-9666）

◇この件に関するお問合せ先；一般社団法人全国トマト工業会 小後摩／根本

TEL:03-3639-9666、e-mail:nemoto@japan-tomato.or.jp